

アプリのこと

令和2年9月25日発行
つどいの家・アプリ編集
〒982-0816
仙台市太白区山田本町 3-20
TEL 022-743-1882
FAX 022-743-1883



季節は秋へと変わりはじめています。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、様々な秋がありますが、今年はどんな秋になるのか楽しみですね！

ひとりごと

～ことばはまほう～



先日、老々介護の番組を見ました。認知症の妻が徘徊していることに対して「徘徊という言葉が好きではないので、訳あり外出と言っている」とコメントしている夫の言葉に心が和みました。

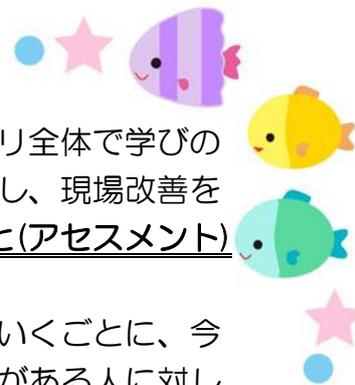
介護や福祉の番組は、介護の実践方法や地域とのネットワーク作りなどを紹介することが多いのですが、その番組は介護や福祉に対する考え方や解釈次第で、介護が必要になっても生涯の伴侶とずっと一緒に過ごし、楽しい人生を送れるという内容でした。

「認知症」という言葉は以前「痴呆症」という言葉でした。痴呆という言葉は侮蔑的であるため、言葉が変わりました。また、「痴呆症」という言葉を聞くと高齢者をイメージしがちですが、今は若年性の認知症の人も増えています。認知症＝高齢の方という考えが改めさせられ、言葉は魔法であると思いました。

「徘徊」という言葉に限らず、「障害者」・「認知症」・「精神薄弱者」・「差別」・「外国人」など言葉に疑問を感じる漢字もあります。言葉の捉え方は人それぞれですが、きれいだなと感じる時もあれば、言葉が刃物にかわってしまう時もあると感じました。言葉はある意味、時代を変化させるものだと思います。「訳あり外出」と話している夫のように、魔法の言葉を作ることも必要な時代だと思いました。夫は「介護」という言葉もあまり使いたくないとも話していました。つどいの家では、「介護」ではなく「支援」という言葉で表現していますが、福祉に携わる仕事をしている人たちで言葉について話し合ってみたいと思う今日この頃でした。

(記：大累)

アプリ内部研修!



今年度もアプリでは株式会社アスム療育・研修センターと一緒に、アプリ全体で学びの場を設けています。目的は自閉症の人への支援とアセスメント方法を理解し、現場改善を行うこと。まずは利用者の特性(なにができる、なにがわかる)を知る(アセスメント)から始めていきます。

しかし、自閉症の人への支援・・・とお伝えしましたが、研修を重ねていくごとに、今学んでいるアセスメントの方法は自閉症の人に限らず、様々なしょうがいがある人に対しても必要な手法であると感じています。利用者の好きな物や苦手な物、興味や関心などに対してなぜ好きなのか、なぜ苦手なのか、物事を説明するには《根拠》が必要になります。今までつどいの家でもアセスメントは丁寧に行なってきました。しかし、利用者の想いも当然日々変わっていきます。好きな物や苦手な物、関わる人も変わり人間関係も複雑になっていきます。この日々変わっていく本人の情報や想いを本人が持っている特性に焦点をあてながらアセスメントし、根拠を得ていく。そのようなことをコンサルタントから学んでいます。何事も丁寧に！アプリ全体でがんばっていきたいと思います！

(記：押切)



LIVING ～地域での暮らし～

みなさん「こころのバリアフリー」という言葉は聞いたことがありますか？そもそも、バリアフリーとは障がいのある人の社会生活・社会参加をしていく上を困難にしている障壁（バリア）となるものをなくしていくことです。バリアフリーと耳にして、多くの方が車いす用のスロープや手すり・点字ブロックや段差のない道などを思い浮かべるとと思います。こころのバリアフリーとは、障がいの有無に関わらず地域で暮らす一人ひとりがお互いのことを理解し、コミュニケーションを深めながら支え合うことです。例えば「お店の前に段差があり車椅子の方がなかなか入れない」「エレベーターを利用しようと思っていたらベビーカーを利用している方も待っていた」などのその方の「困った」という場面を目にした時に配慮をしたり、声掛けをすることなどがこころのバリアフリーの一歩になります。

近年様々な問題で、新しい生活様式に変わりつつある社会ですが、様々な人がいるなかでお互いを尊重し合い、それぞれの人に合った配慮があることに「気づく」ということは忘れてはいけないうことであると思います。そのためにも、これからも活動で地域との関わりを深めたり、このような会報を通して発信していきながら、障がいのある人への理解をもっとひろげていきたいと感じました。
(記：佐藤(愛))

新規利用者歓迎会



8月4日にアプリ歓迎会が行いました。本来であれば年度始めの4月に開催する予定だったのですが、コロナウイルス感染拡大防止の為、8月の開催となりました。保護者の方々や支援学校時代の先生も参加して下さいました。歓迎会では、バジルグループの生江康子さんの挨拶で始まり、4月から通所しているカモミールグループの齊藤加奈さんと、7月から通所しているミントグループの原幸一さんが自己紹介をしました。学校時代とは違う生活を楽しみながら日々を送っていると話がありました。最後に新職員と異動職員の紹介があり、それぞれ意気込みや、ほっこりする家族の話をする職員もいました。コロナ対策の為短時間での開催になりましたが楽しい会となり、アプリのみなさんも新しい仲間を暖かく歓迎していました。
(記：山口)





アプリアートコレクション



新型コロナウイルスの影響もあり、なかなか思うように外出できない日々が続きますが、そんなときこそできることを！ということで、アート活動に力を入れています。

今回はその中から選りすぐりの作品を公開したいと思います！



ミントグループでは、毎月丸窓アートに取り組んでいます！7月は流れ星、8月は浜辺の貝がらを作りました。丸窓アートを作ることが毎月の楽しみの一つになっています。



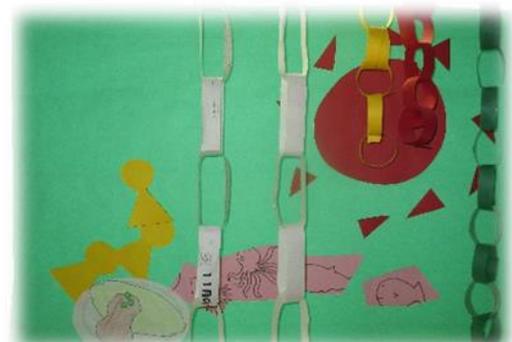
バジル・ローズグループには、壁一面に大きな海が現れました！2日間かけて作り上げたダイナミックなアートは圧巻です！



カモミールグループは、ひまわりを創作しました。笑顔が満開の世界に一つだけのひまわり畑が完成しました！



クレソン・ジャスミングループは季節に合わせたちぎり絵を作りました。美味しそうな焼き芋ですね！



いかがでしたでしょうか？これからも発想を豊かに、季節に応じた様々なアートにチャレンジしていきたいと思います！

(記：淡路)



新規利用者紹介



原 幸一さん

今年度7月から、ミントグループの一員になりました原幸一さんです！原さんは東京都出身で、平成30年に仙台市に引っ越してきました。音楽やダンス活動が大好きで、アプリでもとてもノリノリで楽しんでいます。音楽だけでなく外出活動にも興味があり、職員に「〇〇ってどこ？〇〇行ってみたい！」と話し、期待感を膨らませながら日々を過ごしています。コロナウイルスが落ち着いたら近隣散歩や一日外出など、まだ行ったことのない場所で様々な経験をしたいですね。

(記：石田)



楽しい思い出を作しましょう！

資源回収（お願い）

いつも資源回収にご協力ありがとうございます。つどいの家・アプリでは引き続き資源を回収しております。利用者も一緒に資源納品や車への積み込みから納品まで「はたらくこと」として行なっております。



つどいの家・アプリで回収している資源は下記の通りです。

・ダンボール ・新聞 ・雑誌 ・アルミ缶のみです。

◎資源はいずれも、ひどく汚れたものはご遠慮下さい。

◎濡れたダンボールや新聞、吸い殻やゴミが入っているアルミ缶)

◎アルミ缶は右記のマークがあることをご確認ください。

◎新聞と雑誌類は分けて下さい。

◎衣類は回収しておりません。

◎スチール缶、スプレー缶、ピンは回収しませんのでご遠慮ください。



(記：岡崎)

募金箱設置店

～沼田商店さん～



新職員紹介



作業療法士 (OT) 佐藤 麻衣さん

Q.好きなことは何ですか？

A.息子と遊ぶことです！

Q.今後の意気込みを！

A.利用者の身体を確認しながらコミュニケーションを取り、寄り添えるように頑張ります！

アプリから徒歩 10 分ほどの場所にあります「沼田商店」さんは、新鮮な野菜や果物、食料品やお花まで幅広く取り扱っているお店です。アプリの給食の野菜も「沼田商店」さんから仕入れています。いつもおいしい野菜をありがとうございます！！

「沼田商店」

TEL：022-245-2411

宮城県仙台市太白区山田本町 1 1-35



「バザーっす！！」中止のお知らせ



新型コロナウイルスの感染症拡大防止として、今年度開催される予定であったアプリのお宝市「バザーっす！！」の中止を決定しましたので、再度お知らせいたします。

中止に伴い、今年度のバザー品の提供はお断りすることになりましたのでよろしくお願いいたします。次年度以降、開催できるよう法人としても状況の把握と、より一層の感染対策の強化に努めていきたいと考えております。開催を楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(記：三浦)

《編集後記》

気づけば9月も終わりを迎えようとしています。毎日新型コロナウイルスのニュースが流れ、不安や戸惑いを感じながら毎日を過ごしています。暗いニュースばかりですが、我が家では、きゅうり、トマト、なすを栽培し夏野菜の終わりを迎えました。今年は日照不足で不作でしたが、無事に収穫することができました。やはり野菜は採れたてが一番おいしいですね。これから空気も乾燥する季節になりますので、体には気を付けてお過ごしください。

(記：三浦)